

コレクション展 2016-III  
コレクション・ハイライト+特集展示「みみをすます」  
2016年10月8日(土)～2017年1月22日(日)

趣が異なる鑑賞を楽しむ二本立て構成～人物や人体をめぐる表現を紹介する前半と、感覚を研ぎすましながら作品と向き合う後半

このたび、当館のコレクションを紹介する展覧会として、コレクション展 2016-IIIを開催します。本展は、「コレクション・ハイライト」と題した前半部分と、後半の特集展示「みみをすます」により構成されます。

「コレクション・ハイライト」では、当館コレクションから選りすぐりの作品を展示し、現代美術の表現の多様性を紹介。ここでは人物や人体をめぐる表現に着目します。

また、特集「みみをすます(※)」では、作品に耳をすますように向き合うことを試みます。「耳をすます」とは、聴覚で音声を認識することだけではなく、対象に寄り添い、感覚を研ぎすましながら想像力をひろげていくことでもあります。展示室の中に音が出る作品はありませんが、意思や感覚のあり方によって豊かな空間にもなることを感じられるのではないのでしょうか。

作家一人一人あるいは作品一点ごとの個性や特徴を楽しむこと、ひとつのテーマに沿って作品を鑑賞していくこと、それぞれに味わい深さや発見があります。本展では、そうした自由な向き合い方でコレクションの魅力を感じていただくのが本展のねらいです。

(※)「みみをすます」/タイトルは谷川俊太郎の同名詩集(福音館書店 1982年)より

【出品作家】(展示順 予定)

●コレクション・ハイライト

ジュリアン・シュナーベル、アレックス・カツツ、アンディ・ウォーホル、奈良美智、草間彌生、やなぎみわ、舟越桂、シンディ・シャーマン、チャック・クロース、森村泰昌、アルベルト・ジャコメッティ、マグダレーナ・アバカノヴィッチ、ジャン・アルプ、フランシス・ベーコン、パウル・ヴンダーリッヒ、池田満寿夫、ヘンリー・ムーア、イヴ・クライン、三宅一生、三木富雄

●特集「みみをすます」

日高理恵子、岡崎乾二郎、浜口陽三、菊畑茂久馬、李禹煥、須田悦弘、飯田善國、秀島由己男、阿部展也、ギュンター・ユッカー、デイヴィッド・ナッシュ、金昌永、宮崎進、ポイルファミリー、小沢剛、堂本右美、福田繁雄、アルマン、ヨーゼフ・ボイス、高松次郎ほか

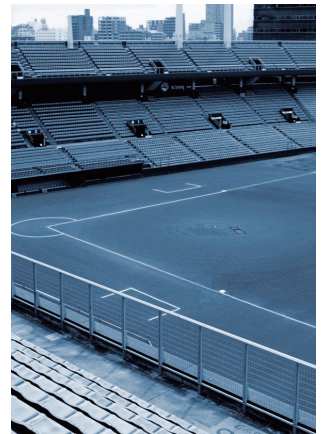
開催概要

- 【会期】 2016年10月8日(土)～2017年1月22日(日)  
【開館時間】 10:00-17:00 ※入場は 16:30 まで  
【休館日】 月曜日(10月10日、1月2日、1月9日を除く)、10月11日(火)、  
年末年始(12月27日～1月1日)、1月4日(水)、1月10日(火)  
【観覧料】 一般 370 (280) 円、大学生 270 (210) 円、  
高校生・65歳以上 170 (130) 円、中学生以下無料  
※( )内は30人以上の団体料金  
※11月3日(文化の日)は全館無料

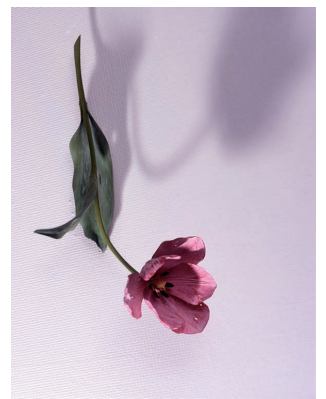
広島市現代美術館(学芸担当:小島 広報担当:後藤、鈴木)  
〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1  
TEL/ 082-264-1121 (代表) FAX/ 082-264-1198  
E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp



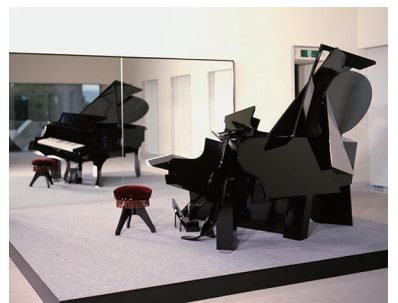
日高理恵子《空との距離 1》2002



小沢剛《地蔵建立一旧広島市民球場 [広島県]》2009



須田悦弘《チューリップ》2006



福田繁雄《アンダーグラウンド・ピアノ》1984